

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人 河北町社会福祉協議会

目 次

1. 概 要	1
2. 事業推進項目	3
I. 社会福祉事業(事業区分)	3
① 法人・地域福祉事業(拠点区分)	3
(サービス区分)	
1 法人運営	3
2 共同募金配分金事業	11
3 生活福祉資金貸付事業	13
4 心配ごと相談事業	14
5 善意銀行	14
6 福祉サービス利用援助事業	14
7 たすけあい資金貸付事業	14
8 河北町戦没者追悼式・平和記念式業務	15
9 福祉のまち育成事業	15
10 緊急通報体制等整備事業	16
11 河北町高齢者寝具乾燥消毒サービス事業業務	16
12 河北町生きがい活動支援通所事業	16
13 河北町家族介護者交流事業	16
14 河北町意思疎通支援事業業務	17
15 介護予防実践事業業務	17

② 介護事業(拠点区分)	19
(サービス区分)	
1 指定居宅介護支援事業	19
2 指定訪問介護事業	20
3 指定居宅介護事業	21
II. 公益事業 (事業区分)	22
③ 地域福祉事業 (拠点区分)	22
(サービス区分)	
1 社会福祉協議会福祉バス運営事業	22
2 河北町福祉バス運行業務	22
3 河北町総合福祉センター管理	22
4 婚活支援事業	23
④ 地域包括支援 (拠点区分)	23
(サービス区分)	
1 河北町地域包括支援センター業務	23
河北町地域包括支援センター事業報告	24
その他の事業	
1 日本赤十字社河北町分区	28
2 山形県共同募金会河北町共同募金委員会	28
別紙1 心配ごと相談所事業報告	29
別紙2 たすけあい資金の貸付事業報告	30
別紙3 1 福祉バス運営事業・福祉バス運行業務	31
2 河北町総合福祉センターの指定管理	31

令和3年度 社会福祉法人 河北町社会福祉協議会事業報告

1. 概要

本法人は昭和40年4月20日に設立され、今日まで幾多の課題に直面しながらも、先人のたゆまぬ努力により地域福祉の推進に取り組んできました。

令和3年度は、第4期河北町地域福祉活動計画の基本理念「おたがいさまの心 住みつづけたい町づくり」の実現と地域福祉活動の推進を図り、町民が安心して地域で暮らせるよう災害ボランティアセンターの設置訓練や防災備品の購入、福祉推進員の設置拡大と連携強化など、引き続き互いに支え合う地域づくりに取り組みました。

河北町でも4月から新型コロナウイルスワクチン接種が開始され、年度末までに高齢者は3回の接種が完了し、その効果によりその収束が期待されていましたが、夏には第5波、冬にはオミクロン株の出現による第6波が発生し、当初予定していた各種事業や研修会等は、その都度事業実施の検討や見直しを余儀なくされました。

9月に予定していた河北中央公園の清掃を行うボランティアの日が直前に中止となったほか、家族の介護を行っている方の介護相談や疲労回復を目的に行っている家族介護者交流事業、さらには会長杯グラウンドゴルフ大会、会長杯ゲートボール大会も2年連続中止となりました。

閉じこもりの長期化は、特に高齢者の体力低下や社会的孤立が危惧されています。様々な制限を受けながらも、活動の継続の必要性和協働の重要性を再認識し、町民の皆様や各団体の参画を得て、事業活動の実施を模索しました。令和2年度と令和3年度の夏に開催を見送った一人暮らし高齢者交流会は、社会的孤立の防止と交流を目的に、時間は半日に短縮し、福祉バスの乗車人数も制限したうえで3日間に分散して実施することができました。

高齢化や核家族化がますます進む中、ボランティア活動の重要性や意義が高まっています。令和2年度に中止したボランティア作文コンクールを2年振りに実施し、ボランティアフェスティバルは、規模を縮小して、感染対策をしっかりと行いながら開催し、ボランティア活動の社会的気運醸成を図りました。

また、令和2年に本町に甚大な被害をもたらしました記録的な豪雨災害を教訓にした災害ボランティアセンターの設置訓練は、職員総参加のもと12月に実施し、改めて災害への備えを確認し合いました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、各家庭にも深く影響を与えました。コロナウイルスの影響による休業や失業等によって収入が減少し、生活に大きな影響を受けた世帯に対して、山形県社会福祉協議会を実施主体とする生活資金特例貸付制度の窓口となり、生活の再建に向けて相談と手続きを行い、36件1,601万円の貸し付けを実施しました。

また、高齢者が安心して地域で暮らせるよう、地域包括支援センターを引き続き受託するとともに、居宅介護支援介護事業所と訪問介護事業所を運営しました。感染リスクの高い利用者や家族の方の生活を守るため、ウイルスを持ち込まない、持ち出さない、拡げないための感染対策に最大限取り組み、手洗い、手袋の着用、マスク・ゴーグルの使用、エプロン・ガウンの着用などの準備をし、感染対策の研修も実施しながら感染対策の実践と遵守に努めました。高齢化が進行する中、介護サービスを安定的に提供していくためには、介護人材の確保は最も重要な課題です。人材確保に向け、国の介護職員処遇改善支援補助金を活用し介護職員の処遇改善を実施しました。

また、社会福祉法の規定に基づき、山形県知事から承認を受けた社会福祉充実計画に従い、5年計画の最終年として、強風雨による雨水侵入防止のため総合福祉センター西側壁面に下屋根の設置し環境改善を行いました。

新型コロナウイルス感染症の長期化は、改めて集いや交流の重要性、そして地域で互いに支え合いながら、安心して暮らせる地域づくりの必要性を強く認識する機会となっています。

令和3年度は、人口減少や高齢化の進展と地域コミュニティの低下に加え、コロナウイルス感染症の感染防止に努める中、第4期河北町地域福祉活動計画の4年目として、住民主体の地域福祉活動と地域の福祉力を育み、高めていくための基盤づくりと関係機関・団体等との協働活動に継続して取り組んでまいりました。

以下、事業の実施状況について、事業推進項目区分毎に報告します。

は新型コロナウイルス感染症の影響によるもの

I. 社会福祉事業(事業区分)

① 法人・地域福祉事業 (拠点区分)

項 目 (サービス区分)	内 容	支出決算額 単位：円
1. 法人運営	1) 法人運営 2) 理事会、評議員会の開催 ○理事会の開催 第1回理事会 6月10日 議第1号 令和2年度事業報告の承認について 議第2号 令和2年度収支決算の承認について 監査報告 議第3号 令和3年度第1回収支補正予算について 議第4号 評議員の選任候補者の推薦について 議第5号 次期理事候補者の推薦について 議第6号 次期監事候補者の推薦について 議第7号 令和3年度第1回評議員会の開催について 第2回理事会 6月25日 議第8号 会長、副会長及び常務理事の選定について 議第9号 評議員選任・解任委員会委員の選任について 議第10号 河北町総合福祉センター下屋根増設工事請負契約の締結について	24,240,654

第3回理事会 9月21日

議第11号 経理規程の一部改正について

議第12号 社会福祉功労者の表彰について

第4回理事会 3月16日

議第13号 令和3年度第2回収支補正予算について

議第14号 職員給与規程の一部改正について

議第15号 嘱託職員等就業規則の一部改正について

議第16号 非常勤ホームヘルパー就業規則の一部改正について

議第17号 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について

議第18号 令和4年度会費の拠出額について

議第19号 令和4年度事業計画について

議第20号 令和4年度収支予算について

議第21号 令和3年度第2回評議員会の開催について

○評議員会の開催

第1回評議員会 6月25日

議第1号 令和2年度事業報告の承認について

議第2号 令和2年度収支決算の承認について

監査報告

議第3号 令和3年度第1回収支補正予算の承認について

議第4号 理事の選任について

議第5号 監事の選任について

	<p>第2回評議員会 3月24日</p> <p>議第6号 令和3年度第2回収支補正予算の承認について</p> <p>議第7号 令和4年度会費の拠出額について</p> <p>議第8号 令和4年度事業計画について</p> <p>議第9号 令和4年度収支予算について</p> <p>○三役会議 毎月1回</p> <p>○監事会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決算監査 5月26日 ・中間監査 11月25日 <p>3) 本会活動の広報、啓発のため「かほく福祉だより」やパンフレット等の発行並びにホームページやフェイスブックを利用した情報発信</p> <p>イ. 「かほく福祉だより」 3回(6、12、3月) 6,200部発行</p> <p>ロ. イベントにおける広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第15回未来を築く愛の募金inかほく 8月22日(日) どんがホール(広告掲載の協力) ・河北町健康フェスティバル <u>中止</u> <p>ハ. ホームページ、フェイスブックによる情報発信 随時</p> <p>4) 財源基盤の確立のため、会員の確保、拡大</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">一般会費</td> <td style="width: 20%;">4,928件</td> <td style="width: 20%;">5,913,600円</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>賛助会費</td> <td>4件</td> <td>10,000円</td> <td></td> </tr> </table> <p>○寄附金等の受領 無し</p>	一般会費	4,928件	5,913,600円		賛助会費	4件	10,000円		<p>(会費収入 5,923,600)</p>
一般会費	4,928件	5,913,600円								
賛助会費	4件	10,000円								

	<p>5) 県、町、県社協など関係機関との連絡調整</p> <p>6) 職員研修の実施</p> <p>7) スノーバスターズ事業</p> <p>一人暮らし高齢者等の通路の除雪支援を小型除雪機により行うボランティア組織（スノーバスターズ隊）の事業</p> <p>1月8日(土)に発隊式（操作訓練）を行い、27人で編成、出動は無し。</p> <p>8) 結婚相談所の開設</p> <p>結婚相談員により、毎週の結婚相談所の開設のほか、研修会及びむらやま婚活ネットワーク「むらやま仲人ネット」へ参加するなど、少子化対策を関係者と連携して進めた。</p> <p>開設日…… 第1、第2、第3火曜日は、「どんがホール」で 18:30～20:30 夜間開催。</p> <p><u>(2、3月は河北町在住・在学・在勤の方に限り相談対応)</u></p> <p>偶数月の第4日曜日は、完全予約制「総合福祉センター」で 13:30～16:00 開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月第1水曜日は、全体会として情報交換を行った。 ・ 研 修 <u>中止</u> ・ 事 業 <p>ア) 結婚相談所（R4.3.31現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登録者数 40人（内、河北町民 12人） ○男 29人（内、河北町民 11人） 	
--	---	--

○女 11人（内、河北町民 1人）

- ・相談件数 76件
- ・紹介件数 68件
- ・お見合い件数 30件
- ・現在交際中 4件
- ・結婚成立数 3件

イ) むらやま婚活ネットワーク「むらやま仲人ネット」

毎月1回開催される情報交換会へ参加し、近隣市町の仲人と情報交換を図った。(2、3月は中止)

ロ) むらやま広域婚活事業実行委員会

村山地域の若者の交流を促進するため、管内の市町や民間団体、NPO等と連携し広域で村山地域の独身男女の出会いの場を創出する事業を行った。
(実行委員会へ加盟)

エ) 山形連携中枢都市圏婚活推進事業

連携市町またはその関連仲人が保有する結婚希望者の情報を交換する情報交換会へ参加し、仲人等と情報交換を図った。

9) 福祉功労者の表彰

第13回ボランティアフェスティバルの際に表彰を行った。

10月31日(日) 河北町総合福祉センター 2階

- ・民生委員児童委員功労者 1人
- ・地域社会福祉功労者 1人
- ・社会福祉事業関係功労者 1人

計 3人

10) 各地区やすらぎ推進会議助成

やすらぎ警報器の設置者と警報の受信者協力者の連携推進を図るため、各地区の推進会議に助成支援を行った。

- ・北谷地地区 交流会中止
- ・西里地区 交流会中止 (物品配布)
- ・溝延地区 交流会中止 (物品配布)
- ・谷地地区は、物品配布による訪問活動を行った。

11) 長寿 (白寿) 絵手紙の配布 長寿の方 29 人に絵手紙を配布した。

12) 各種団体助成

各団体の地域福祉事業の推進のため助成支援を行った。

《助成団体》

- ・民生委員児童委員協議会
- ・老人クラブ連合会
- ・身体障害者福祉協会
- ・心身障害児者協会
- ・遺族連合会
- ・手をつなぐ育成会

13) ボランティア連絡協議会

ボランティア連絡協議会の事務局として、加盟団体の支援を行うとともに、ボランティアの日の事業やボランティアフェスティバルに参加するなど各団体の連携を図った。

《加盟団体数》 20 団体

- ・総会 8月12日 (木) 各団体1名のみ参加とした
- ・ボランティアの日……河北中央公園での清掃ボランティア
9月12日 (日) 午前6時～午前7時 中止

14) 火災予防の指導

15) 友愛訪問事業

要介護4及び5の要介護認定を受けている方等（H31年3月友愛訪問対象者を含む）に、月1回の訪問活動を民生委員を通じて行い、安否確認や家族の激励を行った。その折、ごみ袋などの生活用品を届け支援した。

延べ訪問者数 568人（月平均47人）

16) 福祉推進員の設置

各区に福祉推進員の設置を目指し、第7期の福祉推進員を委嘱した（任期：令和3.4.1～令和5.3.31）。福祉推進員の資質向上のため、調査研究や情報提供、研修を進めた。また、町の助成を受けて、活動費を支給した。

・委嘱状交付式 6月5日（土）福祉推進員への委嘱状交付

設置区数 75区 福祉推進員数 106人

・研修会

・第1回研修会 6月5日（土）

・制度概要と対象者について（事務局説明）

委嘱状交付及び研修会

午前の部（西里、溝延、北谷地、元泉、谷地地区の一部）と午後の部（谷地地区）の2回に分けて実施

・新型コロナウイルス情勢下における地域活動アンケートの実施

（福祉推進員対象、回答率88%）

17) 社協会長杯ゲートボール大会の開催 中止

18) 社協会長杯グラウンドゴルフ大会の開催 中止

19) ボランティア作文表彰

第13回ボランティアフェスティバルの際に表彰を行った。

- ・小学生部門 優秀賞 1人、優良賞 2人、佳作 5人
- ・中学生部門 優秀賞 1人、優良賞 2人、佳作 5人
- ・高校生部門 優秀賞 1人、優良賞 2人、佳作 5人

20) 歌声喫茶「すこやか広場」の開催

講師：永井勉氏

毎月第4水曜日開催 年間12回

受講生 40人 (2グループ編成でAグループ20人、Bグループ20人)

毎月第2火曜日開催 年間12回

受講生 40人 (2グループ編成でAグループ20人、Bグループ20人)

※マウスシールドとフェイスシールドを配布。茶菓子の代わりにお茶のペットボトルを配布。

21) 絵手紙教室

講師：石川吉晴氏 年間各12回

午前の部 毎月第2木曜日午前開催 受講生 32人 (2グループ編成でAグループ16人、Bグループ16人)

午後の部 毎月第2木曜日午後開催 受講生 19人

※茶菓子の代わりにお茶のペットボトルを配布。

22) 歌謡教室「すこやか広場」への支援(H26.4.1より自主教室として支援)

	<p>講師：堀米節子氏 4月15日開講、毎月第1・3木曜日開催 年間24回開催、受講生27人</p> <p>23)災害ボランティアセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアセンター設置運営訓練 12月5日(日) 河北町総合福祉センター駐車場 講師：ウェザーハート災害福祉事務所 代表 千川原 公彦 氏 ・災害ボランティアセンター備品等の整備 <p>24)社会福祉充実計画の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の処遇改善(人員の増員) 嘱託職員1名の継続雇用 ・職員の環境改善(河北町総合福祉センター西側壁面片屋根設置工事) <p>25)リサイクル情報の開示</p> <p>不用品活用バンク登録開始のお知らせをホームページに掲載した。</p>	
<p>2. 共同募金配分 金事業</p>	<p>1) 一般募金配分金事業</p> <p>(1)一人暮らし高齢者交流会事業</p> <p>一人暮らし在宅高齢者を対象に、心身のリフレッシュや交流を図るため交流会を年2回実施予定であったが、案内区を3つに、3日間に分けて、<u>飲食は伴わない半日の交流会として実施した。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目 11月30日(火) 参加者23人 ・2回目 12月2日(木) 参加者20人 ・3回目 12月9日(木) 参加者16人 <p>チェリーランドさがえ(村山なんちゃって舞子の演舞鑑賞)</p>	<p>1,396,736</p>

(2)子どもと高齢者のふれあい事業（伝承活動）

高齢者から子どもへ伝承する「しめ飾り、ミニ門松、団子木作り」等を老人クラブなどの協力を得て開催した。

(3)児童遊園遊具の整備補助 無し

(4)児童生徒ボランティアの育成

小・中学校・高等学校のボランティア活動支援のため助成を行った。

(5)第13回ボランティアフェスティバルの開催

ボランティアの機運醸成や交流を図るため、ボランティア連絡協議会や関係団体などの協力を得て、規模を縮小し、定員40名として総合福祉センターを会場に開催した。

・10月31日(日) 河北町総合福祉センター

・内 容

◇ ボランティアセンターの研修

・無洗米による炊き出し訓練……………河北町赤十字奉仕団

・ボランティア講演会

演題：「コロナ禍における地域支え合い活動」

講師：柴田社会福祉士事務所（山形市）

代表 柴田 邦昭 氏

(6)身障者交流会の開催

身障者の心身のリフレッシュや交流を図るため平成23年度から交流会を実施。3月末に町長講話やスポーツ交流会を予定していたが中止。

	<p>(7)災害ボランティア支援事業 災害ボランティアに関わる施策を推進するため、差し替えベストの備え付けを図った。</p> <p>2) 歳末たすけあい配分金事業 河北町婦人会の「愛の募金」の配分金や仏教会、医師会、民生委員児童委員協議会等の善意を、配分委員会を開催し、たすけあい資金を贈った。</p>	696,634															
3. 生活福祉資金 貸付事業	<p>低所得者等の経済的自立と安定した生活を支援するため、町、民生委員児童委員と連携し、山形県社会福祉協議会が貸し付ける生活福祉資金の貸付相談、償還指導を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸付 緊急小口資金 1件 50,000円 ・特例貸付 <p><u>新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯</u></p> <table border="1" data-bbox="629 874 1541 1150"> <tr> <td>緊急小口資金</td> <td>11件</td> <td>2,060,000円</td> </tr> <tr> <td>総合支援資金</td> <td>7件</td> <td>3,750,000円</td> </tr> <tr> <td>総合支援資金(延長)</td> <td>5件</td> <td>2,850,000円</td> </tr> <tr> <td>総合支援資金(再貸付)</td> <td>13件</td> <td>7,350,000円</td> </tr> <tr> <td>(合計)</td> <td>36件</td> <td>16,010,000円</td> </tr> </table>	緊急小口資金	11件	2,060,000円	総合支援資金	7件	3,750,000円	総合支援資金(延長)	5件	2,850,000円	総合支援資金(再貸付)	13件	7,350,000円	(合計)	36件	16,010,000円	170,099
緊急小口資金	11件	2,060,000円															
総合支援資金	7件	3,750,000円															
総合支援資金(延長)	5件	2,850,000円															
総合支援資金(再貸付)	13件	7,350,000円															
(合計)	36件	16,010,000円															

4. 心配ごと相談事業	<p>心配ごと相談所の開設（電話による事前申込、時間割にて対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心配ごと相談所……毎週水曜日、心配ごと相談員による相談。 ・総合相談所……毎月第4水曜日、弁護士、司法書士、土地家屋調査士、人権擁護委員、行政相談員などの専門家による相談。 ・相談概要は、別紙1のとおり 	850,637
5. 善意銀行	<p>町民の善意による金品の預託を受け、地域福祉の推進を図るため、適切な活用を図った。</p> <p>行路貸支給等 利用者 無し</p>	
6. 福祉サービス利用援助事業	<p>福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）</p> <p>山形県社会福祉協議会の委託を受けて、生活に不安のある高齢者や障がい者の方に、地域で安心して暮らせるように、福祉サービスの利用契約手続きや日常的な金銭管理援助を実施した。</p> <p>利用者 23人 訪問回数 323回</p> <p>【嘱託職員1名配置】【生活支援員3名】</p> <p>※生活支援員に利用者宅訪問時に使用するマスクを配布。</p>	3,063,915
7. たすけあい資金貸付事業	<p>たすけあい資金の貸付相談支援</p> <p>低所得者等の経済的自立と安定した生活を推進するため、町、民生委員児童委員と連携し、償還指導を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容については、別紙2のとおり 	55,000

<p>(以降、町からの受託事業)</p> <p>8. 河北町戦没者追悼式・平和祈念式業務</p>	<p>先の大戦による戦没者等の追悼と平和を祈念する式典を河北町仏教会の協力を得て、仏式で催行した。<u>町健康福祉課、町遺族連合会、当協議会の三者で協議の上、規模を縮小した。※町遺族連合会（遺族、会員）にローソクの配布。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時 5月28日(金) ・会 場 どんがホール ・参加者 40人 	<p>300,000</p>
<p>9. 福祉のまち育成事業</p>	<p>ボランティア活動を推進するため、ボランティア団体の育成支援やボランティア養成講座の開催、ボランティア体験活動などを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア団体の助成 <ul style="list-style-type: none"> ・河北町心身障害児者協会 ・のぞみの会 ・ピエロ（高校生ボランティア） ・手話クラブ ○ボランティア講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> ◆10月31日(日) 河北町総合福祉センター ・参加者 40人 ・内容 演題：「コロナ禍における地域支え合い活動」 講師：柴田社会福祉士事務所（山形市） 代表 柴田 邦昭 氏 ○ボランティア体験活動 <ul style="list-style-type: none"> ・チャリティクリスマスライブ 12月26日(土) 来場者数約40人 ・スカイランタン in どんが 1月10日(月) 来場者数約180人 	<p>794,552</p>

10. 緊急通報体制等整備事業	<p>一人暮らし住宅高齢者等へ緊急通報装置の取り付け整備を行った。</p> <p>・新規貸付 30台 ・返却 24台 ・年度末設置数 149台</p>	3,498,076												
11. 河北町高齢者寝具乾燥消毒サービス事業業務	<p>一人暮らし高齢者、介護を要する寝たきりの方の寝具類のクリーニング代の一部を助成した。</p> <p>・利用者数170人 ・枚数337枚</p> <p>・内訳 布団64枚、羽毛布団13枚、こたつ布団100枚、毛布160枚</p>	638,304												
12. 河北町生きがい活動支援通所事業	<p>要介護認定外の方や65歳以上で家に引きこもりがちな高齢者を対象に、週3回(月、水、金)生きがい活動を行った。</p> <p><u>(午前中のみの活動のところ、1/4~1/14までは1日の活動となったが、その後は再度午前中のみの活動で、温泉入浴は行わなかった。)</u></p> <p>○内容</p> <table border="1" data-bbox="495 839 1700 1019"> <thead> <tr> <th>開設日</th> <th>月曜日</th> <th>水曜日</th> <th>金曜日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>51回</td> <td>51回</td> <td>49回</td> </tr> <tr> <td>延人数</td> <td>706人</td> <td>453人</td> <td>588人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">【臨時職員2名配置】</p>	開設日	月曜日	水曜日	金曜日	回数	51回	51回	49回	延人数	706人	453人	588人	3,045,750
開設日	月曜日	水曜日	金曜日											
回数	51回	51回	49回											
延人数	706人	453人	588人											
13. 河北町家族介護者交流事業	<p>在宅で寝たきり等の高齢者の介護を行っている家族介護者に対し、介護相談や疲労回復を目的に家族交流会を宿泊コースと日帰りコースで実施予定であったが、<u>中止</u>。</p>	446												

<p>14. 河北町意思疎通支援事業業務</p>	<p>視覚及び音声又は言語機能障がい者の社会参加促進のため、手話通訳者、手話奉仕員及び要約筆記奉仕員の派遣、並びに手話奉仕員等の養成講座を実施した。</p> <p>○手話通訳者・手話奉仕員の派遣 111回 要約筆記者・要約筆記奉仕員の派遣 無し</p> <p><u>※手話通訳者へフェイスシールド、マウスシールドの配布。</u></p> <p>○手話奉仕員の養成講座</p> <p>・期間 5月～3月 入門編・基礎編 40回 受講生 13人</p> <p>・講師 河北ろうあ部会（佐藤光一氏、角川悟氏 奥山健一氏、工藤広仁氏）</p> <p><u>※講師、受講生にフェイスシールドとマウスシールドを配布。</u></p> <p style="text-align: right;">【嘱託職員1名配置】</p>	<p>3,574,447</p>																														
<p>15. 介護予防実践事業業務</p>	<p>「すこやか広場」を活用して、講師に鹿俣由美氏（健康運動指導士）を迎え介護予防の講座を毎週火曜日に開催した。</p> <p><u>各コースを地区毎A・Bの2グループに分けて、1時間の教室とした。</u></p> <p>○前期</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>べにばなコースA</td> <td>4月 6日～</td> <td>9月 7日</td> <td>参加者</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>べにばなコースB</td> <td>4月20日～</td> <td>9月21日</td> <td>参加者</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>さくらコースA</td> <td>4月13日～</td> <td>9月14日</td> <td>参加者</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>さくらコースB</td> <td>4月27日～</td> <td>9月28日</td> <td>参加者</td> <td>14人</td> </tr> </table> <p>○後期</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>べにばなコースA</td> <td>10月11日～</td> <td>12月28日</td> <td>参加者</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>べにばなコースB</td> <td>10月12日～</td> <td>12月27日</td> <td>参加者</td> <td>19人</td> </tr> </table>	べにばなコースA	4月 6日～	9月 7日	参加者	14人	べにばなコースB	4月20日～	9月21日	参加者	16人	さくらコースA	4月13日～	9月14日	参加者	14人	さくらコースB	4月27日～	9月28日	参加者	14人	べにばなコースA	10月11日～	12月28日	参加者	19人	べにばなコースB	10月12日～	12月27日	参加者	19人	<p>1,288,000</p>
べにばなコースA	4月 6日～	9月 7日	参加者	14人																												
べにばなコースB	4月20日～	9月21日	参加者	16人																												
さくらコースA	4月13日～	9月14日	参加者	14人																												
さくらコースB	4月27日～	9月28日	参加者	14人																												
べにばなコースA	10月11日～	12月28日	参加者	19人																												
べにばなコースB	10月12日～	12月27日	参加者	19人																												

	<p>さくらコースA 10月 5日～12月21日 参加者 13人 さくらコースB 10月19日～12月20日 参加者 13人 (べにばなコース65歳～80歳未満の方、さくらコース80歳以上の方) ※後期は、講師の都合により月曜日開催の日もあり。</p>	
--	---	--

② 介護事業（拠点区分）

<p>1. 指定居宅 介護支援 事業</p>	<p>介護支援専門員（ケアマネジャー）が、介護保険のサービスを利用する方の相談に応じ、居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、事業所や施設等との連絡・調整を行う事業</p>	<p>19,597,962</p>														
<p>○居宅サービス計画作成数 91人／月平均</p> <p>○介護認定調査受託数 5人／月平均</p> <p>○介護予防サービス計画作成受託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防サービス計画作成数 12人／月平均 ・介護予防ケアマネジメント作成数 6人／月平均 ・介護予防ケアマネジメントB作成数 0.25人／月平均 																
<p>◎利用実績</p>																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>居宅サービス計画作成数</th> <th>介護認定調査受託数</th> <th>介護予防サービス計画作成数</th> <th>介護予防ケアマネジメント作成数</th> <th>介護予防ケアマネジメントB作成数</th> <th>利用者数計</th> <th>対前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,089人</td> <td>58人</td> <td>149人</td> <td>74人</td> <td>3人</td> <td>1,373人</td> <td>0.83</td> </tr> </tbody> </table>			居宅サービス計画作成数	介護認定調査受託数	介護予防サービス計画作成数	介護予防ケアマネジメント作成数	介護予防ケアマネジメントB作成数	利用者数計	対前年度比	1,089人	58人	149人	74人	3人	1,373人	0.83
居宅サービス計画作成数	介護認定調査受託数	介護予防サービス計画作成数	介護予防ケアマネジメント作成数	介護予防ケアマネジメントB作成数	利用者数計	対前年度比										
1,089人	58人	149人	74人	3人	1,373人	0.83										
<p>【職員2名、嘱託職員2名配置】</p>																

<p>2. 指定訪問 介護事業</p>	<p>1) 訪問介護事業 訪問介護員が、要介護又は要支援状態にある方に対し、心身の特性に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、在宅での介護や援助を行う事業 ○サービス対象者数 53人/月平均</p> <p>2) 介護予防・日常生活支援総合事業 ○サービス対象者数 17人/月平均</p> <p>3) すこやか支援事業 介護保険対象外の実費サービス ○サービス対象者数 9人/月平均</p> <p>4) 介護職員処遇改善加算 介護職員の処遇改善に引き続き務めた。介護報酬の13.7%が加算された。 なお、各事業所とも町民から広く支持信頼を受けるよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会（オンライン）等への積極的な参加 ・より質の高いサービスの提供 ・対象者からの要望等に対する適切な対応 ・各種イベントなどの会場における事業所の広報、PR活動の実施を心掛け、介護保険サービス事業の展開を行った。 <p>◎利用実績</p> <table border="1" data-bbox="526 1225 1668 1391"> <thead> <tr> <th>訪問介護 利用者数</th> <th>介護予防・日常 生活支援総合事業</th> <th>すこやか支援 事業</th> <th>計</th> <th>対前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>630人</td> <td>199人</td> <td>104人</td> <td>933人</td> <td>0.94</td> </tr> </tbody> </table>	訪問介護 利用者数	介護予防・日常 生活支援総合事業	すこやか支援 事業	計	対前年度比	630人	199人	104人	933人	0.94	<p>35,963,972 (予防訪問も含む) (介護報酬 38,521,093)</p>
訪問介護 利用者数	介護予防・日常 生活支援総合事業	すこやか支援 事業	計	対前年度比								
630人	199人	104人	933人	0.94								

<p>3. 指定居宅介護事業</p>	<p>1) 指定居宅介護事業（障がい福祉サービス事業）</p> <p>訪問介護員が、身体障がい又は知的障がい、精神障がいを持つ方に対し心身の特性に応じ自立した日常生活ができるよう、在宅での介護や援助を行う事業</p> <p>○サービス対象者数 13人／月平均</p> <p>2) 福祉・介護職員処遇改善加算（障がい福祉サービス）</p> <p>居宅介護報酬27.4%が加算された。</p> <p>なお、各事業所とも町民から広く支持信頼を受けるよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会（オンライン）等への積極的な参加 ・より質の高いサービスの提供 ・対象者からの要望等に対する適切な対応 ・各種イベントなどの会場における事業所の広報、PR活動の実施を心掛け、障がい福祉サービス事業の展開を行った。 <p>◎障がい福祉サービス事業 利用実績 154人</p> <p>◎総サービス提供時間</p> <p>（訪問介護、介護予防・日常生活支援総合事業、障がい福祉サービス事業）</p> <table border="1" data-bbox="734 1098 1391 1220"> <thead> <tr> <th>総サービス提供時間</th> <th>対前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,373</td> <td>0.90</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">【職員2名、嘱託職員2名、パート登録職員17名配置】</p>	総サービス提供時間	対前年度比	10,373	0.90	<p>3,594,193</p>
総サービス提供時間	対前年度比					
10,373	0.90					

Ⅱ. 公益事業（事業区分）

③ 地域福祉事業（拠点区分）

項目 (サービス区分)	内 容	支出決算額 単位：円
1. 社会福祉協議会福祉バス運営事業	<p>社会福祉協議会の福祉バス1台の運行を町の補助を受け行った。 <u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、運行は山形県内、乗車人数を20名以内に限定。</u> 詳細は別紙3のとおり 【嘱託職員（運転手）1名、パート職員（運転手）2名配置】</p>	3,000,000
2. 河北町福祉バス運行業務	<p>町の福祉バス1台の受託運行を行った。令和4年3月より、新車両（リース車）となった。 <u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、運行は山形県内、乗車人数を20名以内に限定。</u> 詳細は別紙3のとおり 【嘱託職員（運転手）1名、パート職員（運転手）2名配置】</p>	2,165,000
3. 河北町総合福祉センター管理	<p>町の指定を受けて、総合福祉センターの指定管理業務を行った。 介護予防拠点「すこやか広場」の活用のため広報を行い、広く一般利用を図った。 なお、福祉センターの清掃業務の一部をNPO法人ひだまりの家かほくに委託している。(週2回、半日) <u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「すこやか広場」の利用人数を30名程度に限定。</u></p>	7,574,471

	詳細は別紙4のとおり	【嘱託職員1名配置】
4. 婚活支援事業	<p>「婚活支援コーディネーター」を設置し、町や関係機関との連絡調整及び協力をしながら、結婚の推進に関し助言を行い、情報の収集及び提供を行った。</p> <p>結婚相談所の運営に協力し、偶数月の第4日曜日に完全予約制で行われる相談日を設け、結婚相談員と連携を図った。</p> <p>○偶数月第4日曜日の利用</p> <p>6回とも予約無し。</p>	1,019,000
		【非常勤職員 1名配置】

④ 地域包括支援(拠点区分)

項目 (サービス区分)	内 容	支出決算額 単位：円
1. 河北町地域包括支援センター業務	<p>町の委託を受けて、主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師の3職種の職員を配置し、地域包括支援センターの管理業務を行った。</p> <p>地域包括支援センターは、地域住民(高齢者)の保険・福祉・医療の向上のため、総合相談、虐待防止、介護予防マネジメント、認知症高齢者支援などを総合的に行った。</p> <p>○見守り対象一人暮らし高齢者数 713人(令和3年4月1日現在)</p> <p>○介護予防サービス計画策定件数 185人/月平均</p> <p>詳細は別紙のとおり</p>	38,698,445
		【職員4名・嘱託職員2名配置】

河北町地域包括支援センター事業報告

1 包括的支援事業

(1) 介護予防ケアマネジメント

① 指定介護予防事業

月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	合計
件数	103	96	96	90	96	94	94	94	95	95	97	95	1,145

② 第1号介護予防支援事業

月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	合計
ケアマネA	84	78	90	80	89	85	81	81	80	84	89	92	1,013
ケアマネB	4	9	5	4	4	4	3	3	5	5	6	6	58

介護予防ケアプラン評価

評価件数	398
プラン変更	322
・予防給付に変更	165
・新しい総合事業(介護予防・生活支援サービス事業)に変更	157
終了	76
・悪化	70
・改善	0
・死亡	1
・その他	5

介護予防サービス計画策定件数

居宅介護支援事業所	予防プラン	ケアマネA	ケアマネB
河北町社会福祉協議会 指定居宅介護支援事業所	146	80	2
指定居宅介護支援事業所 はつらつ	70	79	12
指定居宅介護支援事業所 ひいな	62	16	0
指定居宅介護支援事業所 ケアサポート紅寿	141	2	0
青空指定居宅介護支援事業所	5	11	0
新芽 居宅介護支援事業所	5	1	0
ミライブ花笑みケア品川(東京都)	2	0	0
河北町地域包括支援センター	714	824	44
計	1,145	1,013	58

(2) 総合相談・権利擁護業務

相談件数 (訪問、電話、来所)

月	総合相談	権利擁護	高齢者虐待
4	146	2	3
5	98	1	0
6	163	1	5
7	144	7	1
8	144	5	7
9	127	1	7
10	114	5	1
11	133	1	0
12	101	3	0
1	125	5	1
2	145	6	2
3	163	8	0
計	1,603	45	27
合計	1,675		

相 談 内 容	件 数
総合相談	1,603
権利擁護(成年後見制度等)に関すること	45(16)
高齢者虐待に関すること	27(7)
計	1,675

()は実人数

一人暮らし高齢者訪問調査数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	21	34	56	36	60	37	54	33	22	36	30	30	449

実人数346人

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

事 業 内 容	回 数
地域ケア会議	12
困難事例ケース検討会議	7
包括支援センター業務打合せ	12
ケアマネジャー研修会	3
1回目参加者 27名 (7/8)	
2回目参加者 27名 (12/7)	
3回目参加者 24名 (3/3)	

その他の事業

<p>1. 日本赤十字社 河北町分区</p>	<p>①日本赤十字社河北町分区 日本赤十字社河北町分区の事務局として、赤十字活動を推進した。</p> <p>②赤十字奉仕団(河北町婦人会)を中心とした会費の収納 5, 038件 3, 531, 800円</p> <p>③各種講習会の開催(救急救命法、家庭看護法、水上安全法)</p> <p>④町や県の総合防災訓練への参加・・・中止</p> <p>⑤災害見舞品の配布 無し</p> <p>⑥災害義援金の募集 ウクライナ人道危機救援金(総合福祉センター内に救援金箱を設置) 110, 000円</p> <p>⑦災害の復興支援 無し</p>	
<p>2. 山形県共同募 金会河北町共同 募金委員会</p>	<p>山形県共同募金会河北町共同募金委員会の事務局として、赤い羽根共同募金運動を実施した。</p>	

心配ごと相談所事業報告

単位：件

番号	相談事項	受付 件数	処理状況				
			解決	再来	民生委員	他機関	その他 (助言・指導)
1	生計	6				1	5
2	年金						
3	職業生業	5		4			5
4	住宅	3				1	2
5	家族	2				1	1
6	結婚						
7	離婚	8				1	7
8	健康・保険・衛生						
9	医療						
10	人権・法律	20				1	19
11	財産	10				1	9
12	事故						
13	児童福祉・母子保健						
14	教育・青少年						
15	心身障がい児・者福祉						
16	母子・父子福祉						
17	老人福祉						
18	苦情						
19	登記	10	1			1	8
20	行政	5	3			1	2
21	その他	10				2	8
	合計	79	4	4	0	10	66

※再来と処理状況とで重なっている。

たすけあい資金の貸付事業報告(平成24年度以降)

単位: 件 円

年度	生活資金		未償還金	
	貸付件数	貸付金額	未償還件数	未償還金額
24	2	33,000	0	0
25	0	0	0	0
26	0	0	0	0
27	0	0	0	0
28	0	0	0	0
29	1	100,000	0	0
30	0	0	0	0
令和元	2	56,000	1	32,330
2	0	0	0	0
3	0	0	0	0
合計	5	189,000	1	32,330

《公益事業》(事業区分)

1 社会福祉協議会福祉バス運営事業・河北町福祉バス運行業務

町から補助及び委託を受けて、福祉団体やいきいきサロン等の会議、研修視察等に係る交通手段の利便性と地域間交流の円滑化を図っている。

項目	利用 件数	利用者数 (人)	走行距離 (km)	延走行距 離 (km)	燃料 消費量 (ℓ)	自動車購入 年月	備考
	(件)						
1号車	173	2,194	7,511	98,246	2,074.70	H25. 3	
2号車	92	855	3,978	353,986	913.36	H12. 3	旧車両
			779	1,323		R4. 3	新車両
合計	265	3,049	12,268	453,555	2,988.06		

2 河北町総合福祉センターの指定管理

平成21年4月1日から、指定管理者として総合福祉センターの管理運営を行っている。

項目	項目
利用件数	327件
利用人数	4,425人
電気使用量	75,670kw
電気料金	2,263,356円
水道使用量	315m ³
上下水道料金	240,573円